

群馬県立歴史博物館

第111回企画展「弥生人は二度死ぬ—再<sup>さいそうぼ</sup>葬<sup>ぼ</sup>ってなに?—」

本展では、弥生時代の東日本で盛んにつくられた再葬墓という一見奇異な墓を通じ、なぜ弥生人は二度死ぬのかを探っていきます。

展示の見どころ

西日本と東日本の対面

東日本の再葬墓<sup>さいそうぼ</sup>に対し、西日本を代表する甕棺墓<sup>かめかんぼ</sup>。佐賀県吉野ヶ里遺跡<sup>よしのがり</sup>の甕棺から出土した副葬品<sup>ふくそうひん</sup>（銅鏡<sup>さいし</sup>や貝輪<sup>さいし</sup>）や祭祀用につくられた赤い土器と、再葬墓出土品<sup>どくうがたようき</sup>（土偶<sup>じんめんつきど</sup>・人面付土器<sup>き</sup>、大型壺<sup>おおがたつぼ</sup>）が登場します。

土器の里帰り

再葬墓研究のきっかけとなった岩櫃山鷹<sup>いわびつやまたか</sup>の巢岩陰遺跡<sup>すいわけいせき</sup>から出土し、東京国立博物館と明治大学博物館に所蔵されている土器が里帰りするなど、群馬県ゆかりの資料が一堂に会します。

沖縄県以外での初公開

沖縄県以外では初めて、となる洗骨葬の一部始終を撮影した写真<sup>ずしがめ</sup>と厨子甕<sup>ずしがめ</sup>（骨壺）を公開します。



人面付壺形土器

(東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives)



岩名天神前遺跡出土土器・人骨

(明治大学博物館蔵)



厨子甕

(日本民藝館蔵)

展示の概要

会期 令和6年10月5日(土)~令和6年11月24日(日)

会場 県立歴史博物館 企画展示室

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日:月曜日(10月14日・28日・11月4日は開館)

10月15日(火)・29日(火)・11月5日(火)

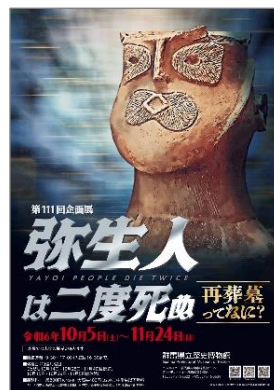
観覧料 一般800円、大高生400円、中学生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1人は無料

※企画展示と常設展示の両方がご覧いただけます

※群馬県民の日(10月28日)は無料

・取材は随時受け付けますのでご連絡ください。(担当:石田・柳澤)



【問い合わせ先】群馬県立歴史博物館  
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1  
TEL.027-346-5522 FAX.027-346-5534

